

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	相模原市(仮称)南部学校給食センター整備・運営事業	階数	地上2F
建設地	相模原市南区古淵5丁目696番1の一部 外	構造	S造
用途地域	準工業地域、防火地域指定なし	平均居住人員	628 人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,920 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年10月 予定	評価の実施日	2025年7月4日
敷地面積	9,803 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社総企画設計 横浜支店
建築面積	4,405 m <sup>2</sup>	確認日	2025年7月23日
延床面積	5,368 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社総企画設計 横浜支店



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.4

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

46 (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.8

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

LR のスコア = 3.7

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.6

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
古淵駅から自転車です約6分の準工業地域に工場を計画した。	特になし。	
Q1 室内環境 特になし。	Q2 サービス性能 建築基準法に定められた25%増の耐震性を有する。 そして、階高3.9m以上。 また、[壁長さ比率] < 0.1。	Q3 室外環境(敷地内) 特になし。
LR1 エネルギー BEIm=0.00、LED照明設備を導入。	LR2 資源・マテリアル 節水コマなどに加えて、節水型器具も採用している。 そして、「躯体+軽鉄+仕上げ材」により、躯体と仕上げ材が容易に分別可能。 また、ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率55%。 そして、光害対策ガイドラインと広告物照明の扱いの全ての配慮事項を満たしている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される